

KantetsuNews

2016年06月26日

いつも、関西鉄道をご利用いただきありがとうございます。

2017年3月18日（土）に開業予定の関鉄大阪環状線において、今後のダイヤ改正より運転本数の増発を予定しています。それによる車両不足を補うため、新型車両 K20 系の導入を行う方針です。

この度の新型車両は、JR 西日本との共同で開発しています。

安全装置については、関鉄西日本初となる運転士異常列車停止装置（EB-N 形装置）を設置したほか、車両異常挙動検知装置も搭載します。また、運転席にある速度計、電圧計を電子モニターに変更します。衝突安全対策や戸挟み安全対策にも努めています。さらなる安定輸送を実現するため、運転台機器類を二重系化も図ります。

車内はオールロングシートで、クッション性を高め、座り心地を改善しました。客室内灯具は、LED を採用しています。4号車は女性専用車で、他の車両と異なる外観カラーや客室内灯具の色調を採用することで、より区別しやすくしました。さらに混雑への対応として、すべての車両両端の出入口スペースを拡大しました。優先座席には取手をつけ、仕切りを設置しました。

車内の案内ディスプレイはドア上部の8カ所、車端部に2カ所の計10カ所（20画面）に設置し、4カ国語（日本語、英語、中国語、韓国語）での案内を表示する予定です。車内アナウンスは、関鉄西日本の在来線としては初となる自動放送により2カ国語（日本語、英語）で行う予定です。車いすやベビーカースペースは全車両の車端部に設けており、バリアフリー対応も充実させます。無料公衆無線LANサービスも適応する予定です。

全車両 2019年の営業運転開始に向け、製造を開始します。今後、4両編成6編成・8両編成6編成の計72両を導入する予定です。

車両デザインイメージ（7月下旬に落成予定の第1編成 関西車輛製）

